

杉戸町記者発表資料

- 平成30年2月8日（木）
- 担当課 総務課
- 担当者 野口、植原、土橋
- 電話番号 0480-33-1111（内線213）

杉戸町職員による「杉戸未来創造塾」が町の未来を提案！ 町長らに向けて、政策プレゼンテーションを実施しました。

入庁15年目の杉戸町職員を対象とした「杉戸未来創造塾」が、2月1日（木）、杉戸町役場会議室にて、町長ら幹部職員に向けての政策プレゼンテーションを、下記のとおり実施しました。

この「杉戸未来創造塾」は、町民のニーズに応える政策を実現していくための政策形成・提言能力を習得することを目的に、政策提言研修として実施したもので、今年度の対象者8名が2グループに分かれ、グループごとに決めたテーマについて年度を通して研究を行いました。

記

■「杉戸未来創造塾」概要

1. 目的 厳しい財政状況や職員数減少の中で、町民のニーズに応える政策を実現していくためには、職員の政策形成・提言能力の向上が不可欠であり、行政課題の実践的な技能を習得することを目的としています。
2. 内容 □講師：高橋^{たかはし} 香^{かおる}氏（有限会社L&M研究所 代表取締役）
□カリキュラム：全5回の内部研修のほか、先進自治体の視察、業務時間外の自主的ミーティングなど。
※内部研修第5回目が政策プレゼンテーションとなります。
3. 対象 杉戸町役場入庁15年目程度の職員8名
(内訳：一般事務6名、保健師1名、保育士1名)

■提言プレゼンテーション内容

- ・複合施設による役場新庁舎の建設
→一般財源からの支出ゼロで新庁舎を建設した東京都豊島区を参考に、マンションとの複合化によって低コストで新庁舎を建設
- ・地域の中小企業の成長を促し、地域経済を活性化
→地元の中小企業が長期的に繁栄するようなビジネス環境を構築するために、中小企業の新しい取組みを支援するネットワークの構築、ビジネス交流の促進等

■古谷松雄町長のコメント

「政策提言研修を提言で終わらせるのではなく、実現できるよう考えてほしい。実際にすぐにも実施出来そうな提案もあった。今後もこのような職員による提案を積極的に取り入れ、町の更なる活性化を目指していきたい。」

■参加者のコメント

- ・「事業提言としてもっと検討するべき部分もありましたが、町に潜んでいる新たな可能性を提言できたと思います」
- ・「チーム一丸となって町の現状を分析し、先進自治体の事例を参考として政策を作り上げたことは大変勉強になりました」
- ・「今後は、提案した政策が実現できるように取り組んでいきたい」

■今後の展開

プレゼンテーション内容について、担当部署による協議・検討の上、町の活性化に効果があり、実現性が高いものについては、適宜、施策・事業への展開を図るものとします。

■その他 画像（6枚）

【画像①】プレゼン会場（役場会議室）の様子



【画像②】役場新庁舎建設を提案



【画像③】講師の講評を聴く受講生



【画像④】古谷町長からのアドバイス



【画像⑤】修了証授与式の様子



【画像⑥】集合写真

